2020年6月新型コロナウイルスに対して台湾の現状

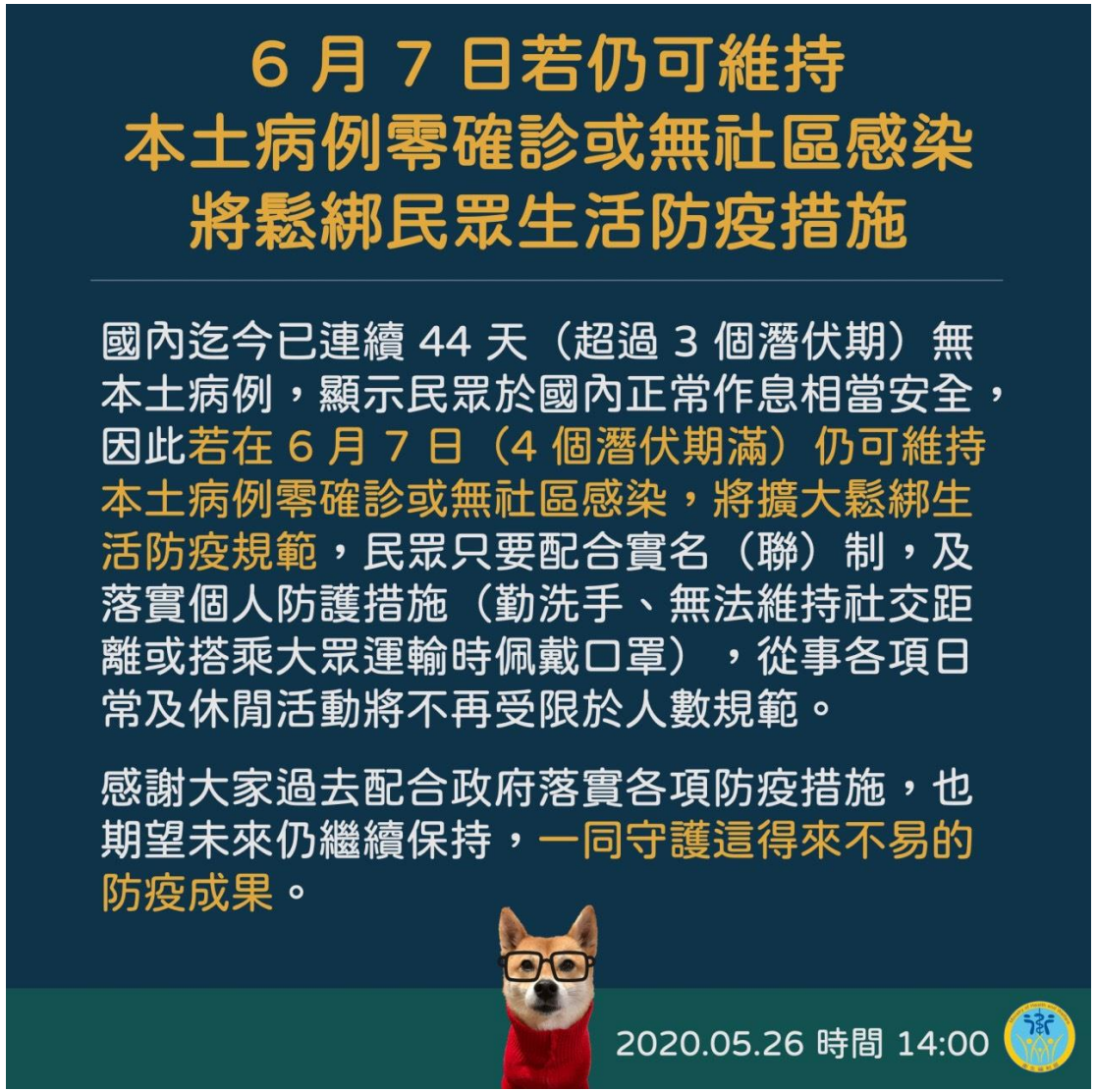
2020年6月4日
合同会社ファブリッジ

6月7日から新しい防疫の生活始まり

6月3日の記者会見で国内新規感染者52日連続で確認されていない。
国内感染症例は無く、国内での正常な生活においてかなり安全であることを示しています。
6月7日までに潜伏期間4回分が満了した後も国内症例のゼロと確認され、地域社会での感染がない場合、生活防疫基準の緩和を拡大する。
個人的な保護対策（手洗い、ソーシャルディスタンスの維持、または公共交通機関を利用する際にマスクを着用する）を実行している限り、実名制度に協力すれば、将来の日常生活や休憩活動の人数に制限されなくなります。

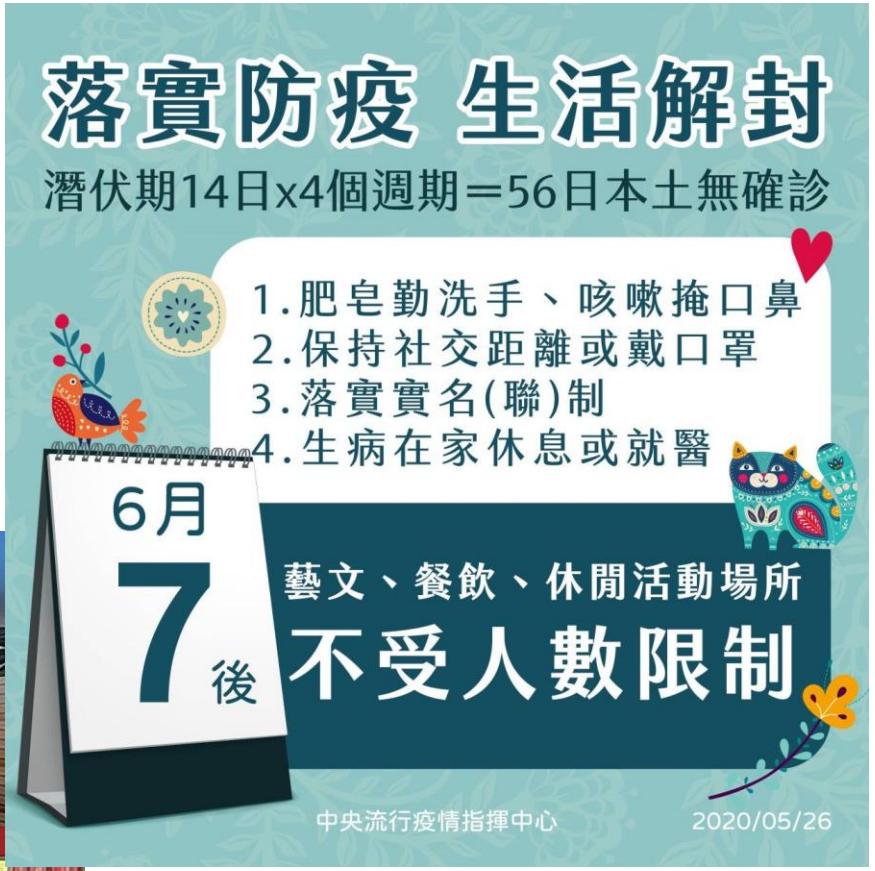
これまで様々な防疫対策を実施してくださった方々に感謝し、今後も引き続き防疫協力をお願いし、成果を挙げていきましょう。

中国語ニュース
https://newtalk.tw/news/view/2020-05-31/414725



6月台湾内部規制緩和

公共交通機関利用の際に混む時間帯以外はマスク着用しなくてもよい。
新幹線乗る際にも食事出来ますし、車内販売も再開します。
人数制限がたとえ無くなったとしても、宗教活動に関してはまだ先です。
200人までの地域活動の場合可能。
マスクの自由販売は6月1日から解禁。
台湾は現在一日生産量2000万枚が有り、政府から徴収は800万枚で、残りの量は自由販売になります。



日本語ニュース
https://jp.taiwantoday.tw/news.php?unit=148,149,150,151,152&post=178273

観光復興に向け規制緩和案

台湾では、「防疫旅行」→「安心旅行」→「国際旅行」の3ステップで観光業の振興を図る計画としている。

★第1段階は5月27日から7月31日迄で、6月1日から、台湾鉄路と台湾高速鉄路での車内の飲食を解禁する見通し。

★第2段階は8月1日から10月31日迄で、団体旅行や個人旅行など全国的な観光活性化を進めるとともに、様々な割引や補助金などを実施。

★第3段階は10月1日から12月31日迄で、国際観光旅行の解禁。感染抑制出来ている国からインバウンド誘致

中国語ニュース
https://udn.com/news/story/7266/4587175
日本語ニュース
http://japan.cna.com.tw/news/apol/20200519000l.aspx

台湾の入境解禁、水際対策厳格管理

ビジネスマンの入国については、まず自分国のPCR検疫完了し、陰性の場合、台湾入国可能。
台湾に入国の際にまた5日間の在宅隔離し、自腹でPCR検疫し、3日間のPCR検疫追跡条件付きで台湾入国可能になります。

解禁第1弾の対象国にはニュージーランドとパラオが入る可能性が最も高いとの見解を示した。
「人道主義、経済・貿易交流、国際医療」の3項目の入国制限緩和を優先する。検討中の各カテゴリー別の検疫措置に関しては、ニュージーランド、パラオなどの第一分類、症例数は少ないため、自主健康管理（外出時のマスク着用、朝晩の検温など）のみで入国可能。
　第二分類、ベトナム、ブルネイなどの国ではリスクが低いですが、自宅検疫が14日間必要な場合、ビジネスの促進には適さないため、検疫が5日間陰性確定後の自主健康管理を求めいる。
　第三分類の日本、オーストラリア、タイなど国ではさらに厳格な措置が必要です。検査の回数を増やします。第四分類のその他の国で、14日間自宅検疫を維持します。

台灣防疫「內鬆外緊」重點

分類	主題
境外	●人道、經貿、國際醫療三類優先鬆綁入境 ●紐、越2國列入首波短期商務開放名單，其餘專案洽談 ●佔疫苗出爐前，台灣邊境有1～2年無法完全解封
境內（自6/7起開放）	●指揮中心維持一級開設，記者會降低舉辦頻率 ●雙鐵開放飲食、販售自由座、搭捷運仍須戴口罩 ●藝文、體育賽事無人數限制、宗教遶境200人為限 ●口罩改定額徵用，其餘產量供國內外銷售，寄海外無數量限制

資料來源：採訪整理　　製表：郭建志

中国語ニュース
https://www.cna.com.tw/news/firstnews/202006010187.aspx
日本語ニュース
http://japan.cna.com.tw/news/apol/202006020002.aspx

台湾のマスクカラーだけではなくキャラクターもあり

台湾では6月1日からマスク自由販売出来ます。各マスクエ場は徴収用以外の分は自社の方針で海外輸出や国内販売など自由になります。CSD中衛マスクは普段定番色の白、緑、青だけではなくカラーマスクもあり、キャラクター「アンナと雪の女王」のマスクも夏休みから販売予定です。

他社マスクエ場にもレイン
ボーポニーやトランスフォー
マーのマスクを販売予定です。

中国語ニュース
https://health.udn.com/health/story/5999/4607319

医療用マスク海外輸出開放

6月1日からマスク自由販売となり、海外郵送の制限もなくなります。
輸出許可証無し、数量制限無し、郵送回数制限無し、親族、知人など他の国籍にも自由に送れます。

日本語ニュース
http://japan.cna.com.tw/news/asoc/202005280001.aspx

百貨店・ショッピングセンターの客足回復

台湾国内感染症流行が落ち着いたことから消費者行動は7割～9割の水準に戻りました。

遠東百貨は9割まで回復。9軒銀行と共に消費者還元のキャンペーンします。
Qスクエアの業績は最悪時期から7割以上増加しており、6月から夏季年中セール強化し、会員向け還元追加する。
グローバルモールでは客足週末ほぼ同じ水準に回復し、業績は九割まで回復した。年中セール強化、アプリ機能増やす。

7月にも政府が消費刺激策として3倍の消費が可能な「振興券」を発行し、これまでの売上高減少分を取り戻すことができると期待している。

百貨後疫情時期人潮業績状況

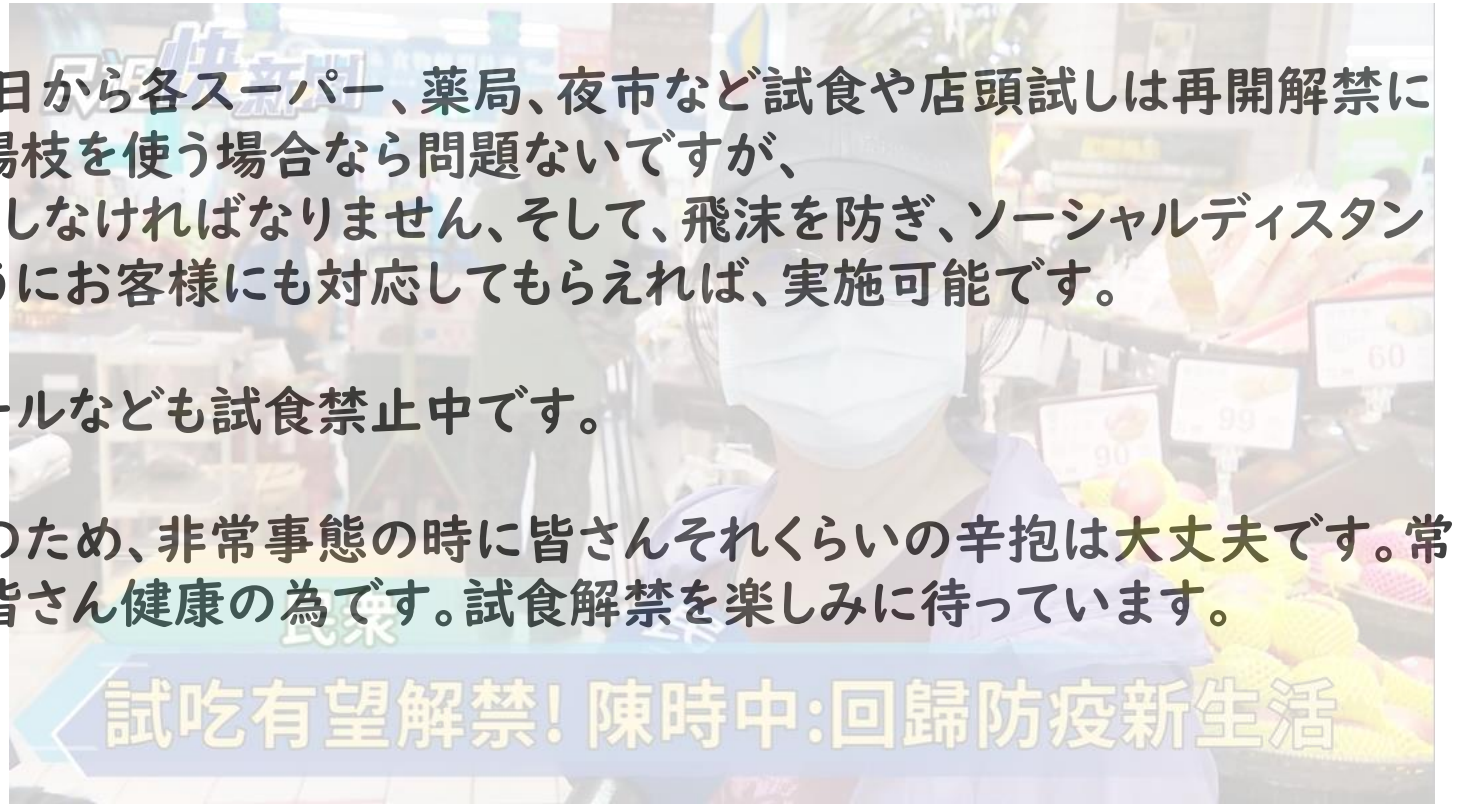
百貨	上周人潮業績	加碼促銷
遠百	人潮回復疫情前九成	結合九家銀行推卡好康 最高回饋11.6%
京站時尚廣場	業績反彈疫情期的逾七成	年中慶加碼促銷 Q卡友回饋加碼
環球購物中心	人潮回復疫情前水平 業績已回復至疫情前九成	年中慶加碼 APP新增功能

中国語ニュース
https://www.chinatimes.com/newspapers/20200526000241-260204?chdtv

試食の解禁

試食は台湾人にとって買い物時の特徴でもあり、各店の分析は試食販売がある場合、有効な宣伝になり、商品売上も上がる。

しかし、新型コロナウイルス拡散防止のため、多くの大手スーパーが試食イベントを中止していました。



感染症中央センター司令官陳時中は、6月7日から各スーパー、薬局、夜市など試食や店頭試しは再開解禁になります。試食に関して使い捨てスプーンや楊枝を使う場合なら問題ないですが、
直接手を使って取る場合、手の清潔さに注意しなければなりません、そして、飛沫を防ぎ、ソーシャルディスタンスを確保し、試食以外はマスクを着用するようにお客様にも対応してもらえれば、実施可能です。

現時点まだ大手スーパーはコストコ、カルフールなども試食禁止中です。

インタビューを受けたお客さんは『公衆安全のため、非常事態の時に皆さんそれくらいの辛抱は大丈夫です。常に他人と一定の距離を置いて試食する方が皆さん健康の為です。試食解禁を楽しみに待っています。
』とコメントした。

中国語ニュース（動画）
https://www.youtube.com/watch?v=gmm5T4N9nRw

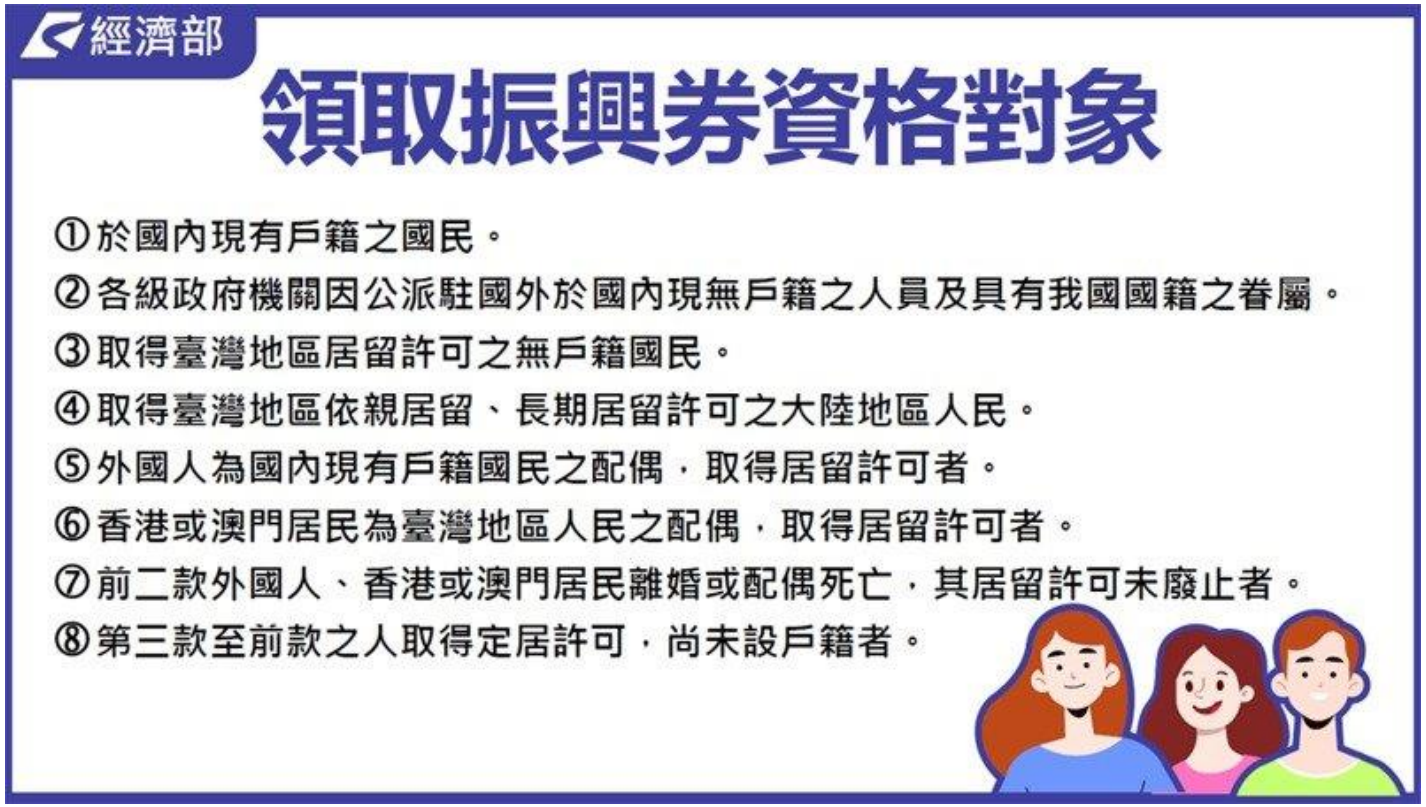
感染症流行後の振興券について

新型コロナウイルスの流行状況の伴い、様々な実店舗の業績が低下しており、一方でネットショッピングが伸長している。
この現状を踏まえ、政府は新型コロナウイルスの打撃を受けた産業の支援を目的とした振興券を発行する。
国民1人当たり1000元（約3600円）を自己負担することで、その3倍となる3000元（約1万円）の消費ができる。使用期間は7月15日から12月末まで。

日本語ニュース
http://japan.cna.com.tw/news/apol/202006020001.aspx

振興券交付対象者

①台湾の国籍保有の国民
②政府機関の海外長期滞留のため国内国籍無く、台湾で滞在の家族
③台湾で居住許可を得ている戸籍のない国民
④居住許可及び長期居住許可を取得した中国籍国民
⑤在留資格を持つ外国籍配偶者や中国籍配偶者
⑥在留資格を持つの香港、マカオ国籍配偶者
⑦前二項外国人、香港、マカオの居住者が離婚して、又は配偶者が死亡した場合、そして居住許可が取り消されていない者
⑧第三項から前項まで方は、居住許可を取得しており、戸籍をまだ取得していない方

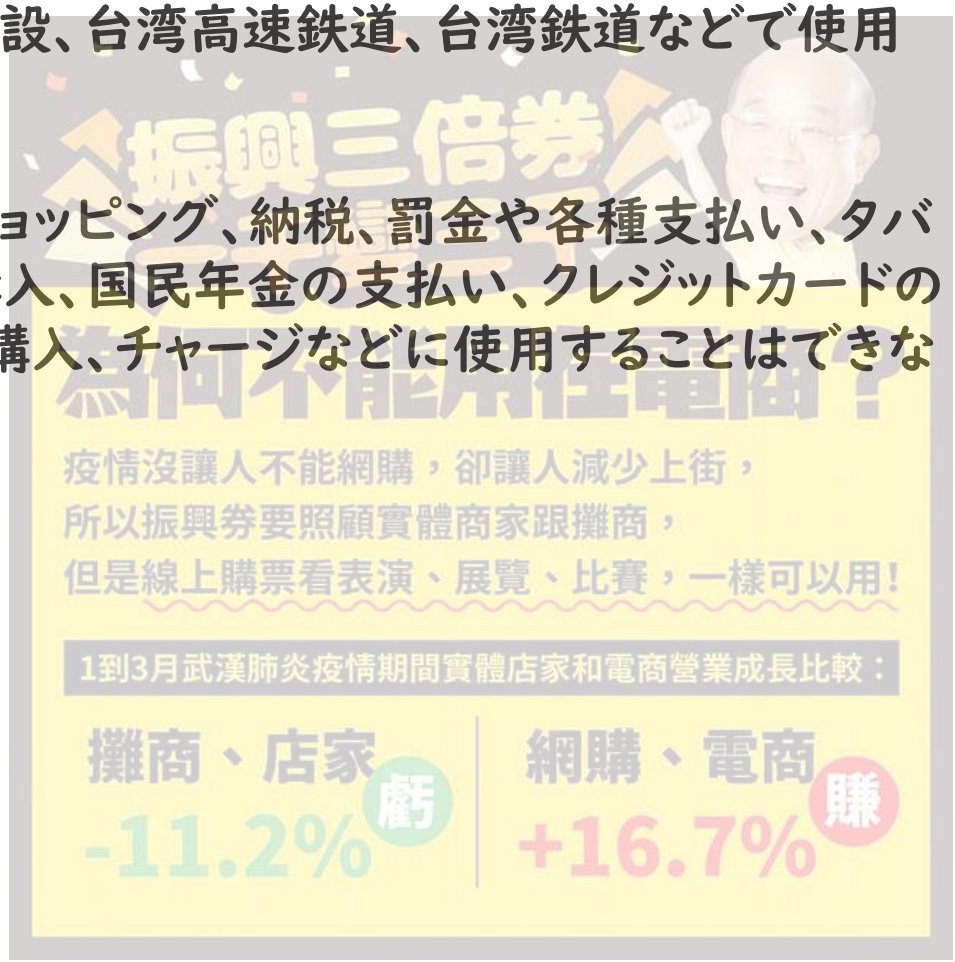


12月31日までに生まれた新生児も、国民健康保険証を取得すれば受け取ることができる。中・低所得世帯は1000元の自己負担が免除され、政府から直接口座に1000元が振り込まれる。

日本語ニュース
http://japan.cna.com.tw/news/apol/202006030003.aspx

振興券使用範囲

使用可能：実店舗、飲食店、夜市、伝統市場、商圏、芸能・文化イベント、宿泊施設、台湾高速鉄道、台湾鉄道などで使用できる。

使用禁止：ネットショッピング、納税、罰金や各種支払い、タバコ、保険、株券の購入、国民年金の支払い、クレジットカードの支払い、商品券の購入、チャージなどに使用することはできない。

中国語ニュース
https://www.edh.tw/article/24455